

西 金田支店限定で町誕生 10 周年キャンペーンを実施 日本シティ銀行金田支店が福智をPR

地方創生に関する包括協定を町と締結し、住宅ローンの金利優遇策をスタートさせた西日本シティ銀行。対象者に福智ならではのプレゼントがある「福智町誕生 10 周年おめでとうキャンペーン」が金田支店限定で実施され、全職員が期間中「福智ブランドTシャツ」を着てPRしました。南里吉昭支店長は「町を広く知っていただくきっかけになれば」と笑顔で話しました。



↑ 福智のポスターや旗などが飾られた店内で、町をPRする金田支店のみなさん。

↓ 老若男女問わず幅広い年齢層が参加。投球を重ねるうちに、高得点を出すチームも。



子 第 10 回福智町カローリング大会 子どもから大人までが真剣勝負!

町体育協会主催のカローリング大会決勝戦が3月13日、金田体育館で開かれました。各地区大会で勝ち上がった36チームが出場。1チーム3人で、約10メートル先の的にうまくカローリングを停止させ得点を競います。出場者は的に近づくにつれ大きな歓声を上げながら、熱戦を繰り広げました。**1位:四ツ葉会A 2位:人見子ども会B 3位:久六E 4位:3区**

手 ものづくり子ども教室 作りの本格的な電気自動車に歓声

「ものづくり工房」を設ける図書館歴史資料館の開館を前に、町内5小学校で3月1日、2日にものづくり教室が行われました。九州工業大学情報工学部の学生サークル「e-car」の3人が自作して公道も走行できるようになった電気自動車の取り組みを講義し、「ものづくりは楽しい」と強調。児童は学生自慢の電気自動車に触れ、ものづくりの可能性や魅力を感じました。



↑ 大型バッテリーなどを取り付けた車内をのぞき込む弁城小4~6年23人の児童。

↓ 記念誌「あゆみ」のお気に入りのページを手に、ほほ笑む編集委員のメンバー。



10 福智町文化連盟 10 周年記念誌創刊 年のあゆみを振り返る記念誌が完成

発足 10 周年の節目を迎えた町文化連盟が記念誌「あゆみ」を3月末に発行しました。14人の委員が構成を考えた記念誌は10年にわたって積み重ねられてきた文化活動を振り返る、たくさんの感動と思いが詰まった一冊。永末良一会長は「多くの人にご尽力いただき発刊できた。今後もまちの文化を守り、さらなる発展のため努力していきたい」と力強く話しました。

↓ 3月5日、兄弟都市提携書に調印し、笑顔で握手を交わす嶋野勝町長と中城村の浜田京介村長。



中 福智町と中城村が兄弟都市提携 城村と「城」の縁で兄弟都市に

福智町と沖縄県中城村が3月5日、飯塚市で行われた調印式で提携書を交わし、兄弟都市の提携を結びました。旧方城町と中城村の間で、互いに「城」の字がつくことを縁に、小学生が21年前から相互訪問を始めたことがきっかけ。これまで交流した児童は計1千人以上で、町内の小学5・6年生は毎年夏休みに「少年の翼」で沖縄へ行き、平和学習を行っています。調印式では金田一区伝統芸能保存会が獅子舞を披露。民間の文化や産業面だけでなく、今後は役場職員の人事交流など行政間においても、一層交流を深めていきます。

親 遠賀川まるごと探検隊 親子で遠賀川をまるごと体験

田川広域連携プロジェクト主催の「遠賀川まるごと探検隊」が3月20日に遠賀川河川敷で行われ、22人の親子が参加しました。川のいきものと触れ合ったり、水質調査を学んだり、川に花を植えたりして地域の川をまるごと体験。彦山川・中元寺川合流地点ではサケの稚魚の放流が行われ、参加者はきれいな川を保ち、4年後にサケが戻ってくることを願いました。



↑ 「遠賀川源流サケの会」の協力で、体長6cmの元気な稚魚2千匹以上に川に放流。

↓ 卒業証書を順番に手渡された方城中の生徒 69 人。新たな門出を祝福されました。



感 町内3中学校で卒業式 感謝の気持ちと思い出を胸に母校巣立つ

3月5日に町内3中学校で卒業式が行われ、赤池中73人、金田中75人、方城中69人が慣れ親しんだ学び舎に別れを告げました。保護者や教員、在校生たちの拍手に迎えられて入場し、各校長から卒業証書を一人ひとり授与された卒業生。歌などを通して、今まで支えてくれた先生や保護者たちに感謝の気持ちを涙しながら伝え、思い出の学び舎を巣立ちました。